



緑のまち

第45号

令和元年11月30日発行

公益財団法人日野市環境緑化協会
〒191-0016 日野市神明2-13-1
☎042-585-4740
<http://www.hinoryokka.org/>



秋、赤黄で着飾る公園



おくやま公園



市民の森スポーツ公園



百草台自然公園



四ツ谷下東公園



黒川清流公園



大木島自然公園

理事長あいさつ



尾崎 義昭

令和になり猛暑と台風が交互に襲ってくる異常気象の年となつてしまいました。日野市内の公園や雑木林や街路樹の木々も紅葉の季節となり、秋から冬支度へと移り変わりを感じる季節となりました。

公益財団法人日野市環境緑化協会は、日野市における都市環境の向上を図るため、都市の緑化を推進し緑と清流を守りうるおい豊かな都市づくりに寄与することを目的としている公益財団法人です。

緑化協会が行っている事業としては、花壇植付けボランティア団体の募集、花の交流広場、庭木の手入れ講習会、菊花コンテスト、緑の作文集、緑の写真展、市内の落ち葉から作った腐葉土や肥料の販売、市内公園や公共施設への花の植付け、市内公園の緑の維持管理などを行っております。

この「緑のまち」では、当協会の事業を紹介させていただきました。日野市が緑でうるおい、豊かな都市へと発展することを、職員一同引き続き目指してまいります。

むすびに、市民の皆さまからの当協会へのご協力に書面をお借りしまして御礼申し上げます。

平成30年度 決算

収 益	基本財産運用益	289,999円
	事業収益	22,785,564円
	受取補助金等	22,853,910円
	受取寄付金	381円
	雑収益	83円
経常収益計		45,929,937円
費用	事業費	40,721,781円
	管理費	5,210,607円
経常費用計		45,932,388円

令和元年度 予算

収 益	基本財産運用益	290,000円
	事業収益	22,956,000円
	受取補助金等	22,866,000円
	受取寄付金	1,000円
	雑収益	2,000円
経常収益計		46,115,000円
費用	事業費	40,935,533円
	管理費	5,179,467円
経常費用計		46,115,000円

「事業計画書・予算書」「事業報告書・決算書」については、緑化協会ホームページをご覧くださいか、緑化協会事務所に備え付けてありますので、お気軽にお越しください。

腐葉土・肥料 販売



緑化協会職員が公園の落ち葉を利用して作った腐葉土は、放射性物質検査を行い販売しています。また（有機）乾燥肥料や（化成）固形肥料も販売していますので、是非ご利用ください。

〈販売場所・時間〉緑化協会事務所：平日 8:30～17:15

〈価格〉腐葉土…… 800円（44ℓ）、400円（20ℓ）、100円（4ℓ）
乾燥肥料…… 100円（400g）
固形肥料…… 30円（160g）

*配達については、ご相談ください。

*数に限りがあるので、1回の購入には数量制限があります。ご理解とご協力をお願いします。

役員名簿

（順不同）

理事長	尾崎 義昭
副理事長	国分 知子
常務理事	坂田 勉
理事	志村 進一
理事	宗 昌枝
理事	小笠 俊樹
理事	石坂 昌子
監事	渡辺 良勝
監事	榎本 数隆

評議員	垣内 成剛
評議員	奥住 日出男
評議員	橋本 栄萬
評議員	片岡 容子
評議員	井上 敏夫
評議員	加納 秀一
評議員	奥住 登



今年も4月～5月を強化月間として取り組んだ「緑の募金」に、たくさんの御理解と御協力をいただきました。

お預かりした募金は東京緑化推進委員会に納入して森林整備等の事業に使用されるほか、一部は当協会にも還元されて、市内の花壇に四季の花々を植え付けるなど、多くの場面で役立っています。

皆さまの御協力ありがとうございました。

令和元年度募金総額（9月末現在）

1,482,723円

豊田小学校のまちたんけん

～梅雨空にやって来た天使たち～



今年6月、梅雨時期にしては珍しい晴天の中、豊田小学校から可愛らしい訪問客がありました。

『お花がたくさんある緑化協会のお仕事が知りたい。』と、第4苗圃（作業場）を訪れた子どもたち。当日のためにと職員が心を込めて作った資料を片手に大きな目をキラキラ輝かせながら、説明を熱心に聞いてくれました。質問タイムでは、子どもたちの難しい質問に冷や汗をかきながら答えた職員たち。それは楽しい、ひとときの「癒しの時間」となりました。

花の交流広場

「花の交流広場」は市民の皆さんがご家庭で余った種子を緑化協会に持ち込んでいただき、必要な方に配布するいわゆる「種のリサイクル」です。

ご家庭で余った種子がある方は、是非緑化協会の事務所までお持ちください。大切にお預かりして、植物を育てたい方に配布します。年間を通じての事業です。ご協力をお願いします。



令和元年度事業実績（その1）

緑のリサイクル



ご家庭で増えすぎた植物をご提供いただき、4月27日（土）イベント当日に集まった皆様に配布しました。今年は、37名の方に約205種1,176点もご提供いただきました。

子ども昆虫教室



7月13日（土）、市内小学生を対象に実施しました。珍しい生きた昆虫に触れたり、神明野鳥の森公園に昆虫採集に出かけたりと、楽しい時間でした。ますます昆虫好きになってもらえると思います。



子ども昆虫教室

菊の育て方講習会と菊苗の無料配布



日野市の花である「菊」の普及と、秋に開催する「菊花コンテスト」に参加していただくため、一般市民、老人クラブ、市内小中学校など合計約8,000本の菊苗を無料配布しました。

また、配布に先立ち、日野市菊友会より講師を招き、菊の育て方講習会も実施しました。

植付けの実演や、水やり、病害虫対策など詳しく教えていただきました。



菊の育て方講習会

庭木の手入れ講習会



10月4日（金）、日野緑進会より講師を迎え、剪定を中心とした、庭木の手入れの基本を学びました。後半は、日野中央公園の都市緑化見本園での剪定実演も行いました。

令和元年度 今後の事業予定

※写真は昨年度のもの

稲わら・竹細工講習会

自然素材の稲わらや竹を使い、お正月用のミニ門松を作る講習会です。協会職員が作り方を丁寧に指導しますので、お気軽にご参加ください。

開催日

令和元年12月20日(金)

応募方法：往復はがきに必要事項を明記の上、協会まで送付

応募締切：12月4日（水）必着

※詳細は、広報ひの11月15日号掲載



緑の写真展

写真を始めたばかり…という方も歓迎！日野市内でお気に入りの風景や、ご自宅できれいに咲いたお花の写真などご出展ください。



テーマ ①日野の四季 ②わが家の緑

募集期間

令和元年11月18日(月)～12月20日(金)

展示期間：令和2年1月7日(火)～17日(金)

展示場所：日野市役所1階市民ホール

※詳細は、広報ひの11月15日号（募集）12月15日号（写真展）掲載

※応募要領は、協会ホームページからダウンロードできます。

緑化講習会

ガーデニング本番の季節の前に、日頃の疑問を解決しませんか？

●春の草花・家庭果樹の管理講習会

開催予定日 令和2年2月7日(金)

※詳細は、広報ひの1月15日号掲載予定

●ガーデニング講習会

開催予定日 令和2年3月6日(金)

※詳細は、広報ひの2月15日号掲載予定



第18回 スプリングフェスタひの

お花見シーズンの、市民参加の人気のイベントです。ステージ演目や、市内商工業者による多数の模擬店があり、家族揃って楽しめる催しです。

開催予定日

令和2年3月28日(土)・29日(日)

※詳細は、広報ひの3月15日号掲載予定



※詳しくは、いずれも協会ホームページをご覧ください。(http://www.hinoryokka.org/)

令和元年度事業実績（その2）

菊花コンテスト



表彰風景

展示期間

令和元年11月1日（金）
～11月13日（水）



市民一般の部 市長賞



老人クラブの部 市長賞



小学校の部 市長賞

8月17日（土）に一般市民、21日（水）に老人クラブ、28日（水）に小学校に配布した小さな菊の苗が、それぞれの手によって育てられ、きれいな花とともに、戻ってきました。

11月13日（水）に、煉瓦ホールで行った表彰式で、日野市長賞等16賞を表彰しました。

応募総数

- 市民一般の部
14名 23鉢
- 老人クラブの部
11団体 120鉢
- 小学校の部
12校 120鉢



令和元年度 配布苗菊花コンテスト受賞者一覧

（敬称略）

賞名	市民一般の部			老人クラブの部		小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	P・S菊の部	大菊の部	
日野市長賞	該当なし	小島 長蔵	菊地 邦雄	豊寿会	該当なし	旭が丘小学校
日野市議会議長賞	旗野美智子	該当なし		久和の美会	四ツ谷永寿会	第六小学校
日野市教育委員会 教育長賞						滝合小学校
（公財）日野市環境 緑化協会理事長賞	該当なし	菊地 邦雄	該当なし	中部長生会		潤徳小学校
日野市老人クラブ 連合会会長賞				川北クラブ		
日野市菊友会会長賞	馬場キミ代	該当なし				
東京南農業協同組合 代表理事組合長賞	該当なし	天野 正次		平山長生会		

第15回

ガーデニングコンテスト&写真展

風薫る5月に、恒例のガーデニングコンテストと写真展を実施しました。この時期は新緑も美しく、宿根草、秋まき1年草に、バラの開花も始まるので、お庭が華やかになり、思わずシャッターを切りたくなりますね。一部ですが、受賞したお庭をご紹介します。

写真展示期間

5月21日（火）
～
6月4日（火）



日野市長賞



石井 幸子 様
「ナチュラルキッチンガーデン」

日野市議会議長賞



豊田 直子 様
「試行錯誤の庭」

緑化協会理事長賞



田中 努 様
「愛のバラ庭園」



日野の花壇・プランターのご紹介

パート2



前年度44号で（公財）日野市環境緑化協会が植付けしている花壇やプランター18か所をご紹介します。皆さまのご近所や馴染みのある施設等の花壇やプランターはありましたか？あら、ここのお花は緑化協会が植付けしてるんだ～!!なんて気付いて頂けたら嬉しいです。今回は更に18か所をご紹介します。緑化協会の職員と愛護会、ボランティア、シルバー人材センターの方々で春夏秋冬、力を合わせて植付けを頑張っていますので、緑あふれるまち日野をどうぞお楽しみください。（公財）日野市環境緑化協会の取り組みや事業、お花のこと、環境のことなど……少しでも皆さまに興味を持って頂ければいいなと思っています。



緑化協会の職員と愛護会、ボランティア、シルバー人材センターの方々で春夏秋冬、力を合わせて植付けを頑張っていますので、緑あふれるまち日野をどうぞお楽しみください。（公財）日野市環境緑化協会の取り組みや事業、お花のこと、環境のことなど……少しでも皆さまに興味を持って頂ければいいなと思っています。



東部会館	七生公会堂	平山城址公園駅	豊田駅南口	南平体育館
 最寄りの多摩都市モノレールの万願寺駅からモノレール沿いを高幡方向に5分程歩いた新井橋の手前にあります。入口付近や東側に植えられたプランターは大変綺麗です。	 最寄りは高幡不動駅。ライブ・コンサートやピアノの発表会など多くのイベントが開催されるホールの入り口には、約200本のお花を植付けてあります。	 駅のロータリー周辺には20基のプランターがあります。毎日、通勤通学の方々を元気よくお出迎えています。	 線路と並行に13基のプランターが綺麗に並んでいます。駅に行き来する方、電車を待つ方、電車の中にいる方にも楽しんでもらっています。	 道路側からは花壇が全く見えないので知らない方も多いかもれません。駐車場や駐輪場をご利用の方々は体育館の行き帰りに、ぜひお花も見て、心も体もリフレッシュしてもらいたいです。
吹上公園	西平山第1公園	緑ヶ丘公園	下郷公園	四ツ谷下西公園
 JR中央線の真横辺りにある公園で、花壇は2か所あります。滑り台・鉄棒・ブランコや砂場がある広い公園に花を添えています。	 日野市の西側にあり、南北に長い公園です。一般的には四角の形をした花壇が圧倒的に多いですが、ここは珍しい形をしたかわいい花壇です。	 日野自動車の北側にあり、公園の形が円形なのが特徴です。公園内には花壇が2か所あります。遊びにきている子どもたちやつろぎにきている方に見てほしいです。	 公園入口に大きな花壇があります。約300本のお花が公園に遊びに来る子ども達を出迎えています。川崎街道を車で走っているとお花たちについて目を奪われてしまう位、見応えがあります。	 広い公園が上段と下段に分かれています。中程の階段の木の下辺りに花壇、上段部分にプランターが2基あります。
日野台1丁目公園	多摩平第1公園	小構公園	小構公園下	程久保神明神社
 日野自動車東側の道沿いにあるとても小さな公園で、入り口近くに花壇があります。近くには、小構公園もあります。	 日野市立病院の南側駐車場からテニスコートと野球グラウンドに向かう道の左手にある花壇です。また、西側に11基と北側の道路沿いに10基プランターがあります。	 日野第三小学校の近くの公園です。花壇のお花以外にもモクレン、アセビ、コスモス、タチアオイ、アガパンサス、紅葉、ピラカンサスなど公園内がお花でいっぱいです。	 小構公園から三小通りの道路に降りてきた道沿いにあります。車からは少し見づらいかもしれませんが、登下校中の子もまたちや通行する方に見てほしいです。	 多摩動物公園駅から北東へ徒歩5分のところにある神社です。鳥居の向かって右側に細長い花壇があります。
旭が丘鉄塔下	矢の上橋西口	向川原緑道	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>市民ボランティア募集中!! お花に興味がある方、日野市内の公園等の植付けにご協力頂けませんか？</p> <p>緑化協会では季節ごとに公園や駅など沢山の公共施設の花壇やプランターにお花を植付けしています。植付けや水やり、草取りをお手伝いして下さる方をお待ちしております。花卉は緑化協会でご支給します。植付け場所や時期などお気軽にご相談ください!!</p> <p>☎ 585-4740</p> </div>	
 旭が丘西公園の南側の道路を挟んだところに花壇があります。約600本のお花が綺麗に植付けされていて、とても見応えがあります。	 JR中央線と中央自動車道の交差した辺りの高架橋にあります。道路沿いに植わっている植木の後ろに花壇があるため、少しばかり目立たないですが、ちょっと覗き込むように見てみてください。	 向川原第1幼児遊園の近くにある花壇です。浅川と並行に設置され、春には数十本の桜が咲き、草花に囲まれた緑豊かな環境です。		

作文集「緑のまち」

市内の小学四年生と六年生を対象に募集した作文に二、五九二名の児童から応募がありました。この中から今年も七名の審査委員により入選作一一一編が選ばれ、カット五九作品と共に作文集を発行します。ここでは優秀賞の中から三作品と審査委員長の講評を掲載します。

守れ！ ぼくたちの ひみつ基地

平山小学校

四年二組 井上 遼真

「おーい、遼真お土産だぞ！」
今日みたいにじゅつと暑い夏のある夜、お父さんが玄関でぼくを呼んだ。汗をいっぱいかいて、お父さんは仕事用のバッグの中をガサガサ。見ると手の中に大きくてかっこいい、オスのカブトムシがいた。

「どこで買ったの？」
と聞くと、お父さんは笑いながら

「会社の帰り道にたくさんいるよ。」

と言った。

「行きたい！」

ぼくはあわててくつ下をはいて、お父さんと初めての虫取りに出かけた。あれはもう六年前のこと。

家から車で十分、真っ暗な夜の森に着いた。モワツとした空気に、土のにおい、小さな虫が顔に付く。びくびくして進むと、いたいた！カナブンにコクワガタ、カブトムシ。みんなじゅ液でお食事中的ようだった。全部取ろうとするとぼくに

「まだ小さい物だから今日はやめよう。」

とお父さんは言った。また来る約束をし、その森を二人のひみつ基地にした。それから毎年、ぼく達は虫に会いに行った。

でも、行く度にどんどん人がふえて、大切な森が変わり始めた事がすぐに分かった。土がほられて、枝が折られている、木がめくれている、ゴミが落ちている。あんなにたくさんいた虫達は姿を見せなくなった。

虫とりは楽しいし、まるで宝探しのようにワクワクドキドキする。でも、だからって、虫達の住み家をあらしてはいけない。人と虫と森と、その三つが仲良く同じ町でくらすためには、ぼく達人間が生物の生活を守らなければいけない。決して勝手に形を変えたらダメだと思っ

いつまでも日野の森が、自然いっぱい、虫達が安心して生きていける、そんなひみつ基地であってほしい。そう強く願って、ぼくはこの夏もあの森へ出かけるんだ。まっつろよ！カブトムシ。



日野の野菜を 守るために

旭が丘小学校

六年三組 福家 直槻

ぼくは、日野市のJA野菜直売所の野菜が大好きだ。なぜなら、スーパーで売られている野菜に比べ、新鮮でみずみずしくて味が濃く野菜本来のおいしさが感じられるからだ。

今の季節、直売所に行くと夏野菜が所せましと並んでいて、見たこともないような珍しい野菜もたくさんある。その中でもぼくが一番好きなのはミニトマトだ。食べるとトマトの中身がはじけるように出てきて甘さが口の中に広がり、本当においしい。野菜というよりもまるで果物のようだ。どうしてこんなにおいしいのか考えると、前にぼくのおばあちゃんが、

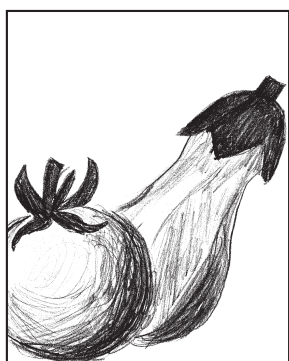
「野菜がおいしいのは、その土地の土が良いからだよ。」
と言っていたのを思い出した。だからぼくは、日野の野菜がおいしいのは日野の畑の土が良いからなんだと思う。

ここ数年で日野には新しい建

物がたくさん増えた。そのおかげで町もにぎやかになったのは良い事だけれどその分畑や緑が減っているという事だ。それは日野で採れるおいしい野菜が減っているという事につながる。

日野市の農業について調べてみると、農地が減少しているのは高い化にともなう人手不足や後継者不足などが原因のようだ。そこで日野市は対策として高い者が使わなくなった畑を市民に貸し出したり、学校給食に日野産の野菜を積極的に取り入れて農業の大切さを知ってもらったり、他にも様々な支援を行っている。

この事を通して、ぼくは日野の畑を守っていくための支援に参加し、これからも日野のおいしい野菜がたくさん採れる町であり続けてほしいと願う。



セミの音楽隊

日野第七小学校

六年三組 稲葉 歩

夏になるとセミの音楽隊がやってきました。暑い暑い夏をもっと暑くするようなセミの声を聞くのがぼくは好きです。

これまでぼくは日野市で、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシゼミ、ツクツクボウシをつかまえたことがあります。また、中央公園では毎年たくさんさんの幼虫が羽化しています。

ぼくは三年生の時、セミの羽化の観察を自由研究にしました。

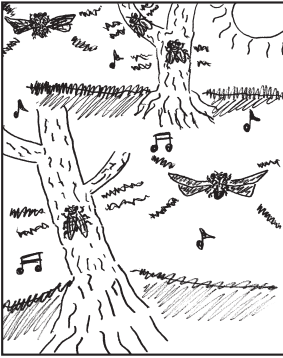
その時は、中央公園で七ひきの幼虫をつかまえました。夜中じゅう自宅のあみ戸で羽化の様子を観察しました。羽化が始まって完全に出てくるまでに四時間ぐらいかかりました。七ひきのうちうまく羽化ができたのは、四ひきだけでした。ぼくは、すべての幼虫がうまく羽化をして成虫にはなれないんだなとその時実感しました。また羽化した成虫には二週間の成虫の時間を思いきって楽しんでほしいと思いました。

ぼくは、夏のおとずれを知らせてくれるセミがいつまでも日

野市で多く羽化してほしいと思っています。そのためには、成虫がたまごを産む木や、幼虫が樹液を吸える木、成虫が元気に鳴くことができる木を守っていく必要があると考えています。

木を守っていくためにぼくたち小学生ができることはたくさんあります。一つ目は、紙を必要以上に使わず使わなくなった裏が白い紙は裏紙として使うこと。二つ目は、裏面まで使った紙は、資源物として回収してもらうこと。再利用すること。三つ目は、小さくなったえん筆でも限界まで使うこと。四つ目は、木を植える活動に参加することなど、小学生にもできることは、たくさんあります。

このようなことをして大切な木を守っていけば、日野市でいつまでもたくさん種類のセミがにぎやかに鳴いてくれると思います。毎年セミの音楽隊がやってきてくれるように自分ができることを続けていきたいです。



「緑のまち」を契機として

審査委員長

日野市立潤徳小学校校長 竹山 弘志

(公財)日野市環境緑化協会主催の作文集「緑のまち」に、日野市内の四年生と六年生が、今年度は二千五百九十二点の作品を寄せてくれました。七名の審査委員は、応募された作品を丁寧に読ませていただき、審査委員全員の総意としてこの作文集に掲載する作品を選出しました。

この作文集の大きなテーマは、「緑のまち」です。

この作文集への応募をとおして、自分たちのまちを真剣に見つめ、感じ、考え、感謝し、様々な思いを巡らせ、それらを整理し、組み立てながら文章にしたことと思います。作品から、児童の皆さんが、日野市の丘陵や河川、用水、公園、田

畑、校庭、自宅の庭などで、樹木、草花、農産物、鳥、魚、虫、風、香りなどに触れる直接体験をしたり、農業体験や清掃活動などにも参加したりしていることがうかがえました。それらの体験や家族などから聞いた昔のまちのようすなどから、自分なりに感じたことやこれからのまちづくり、環境問題などについて考えたことを作文に書いてくれました。

さて、今年の九月には、若者を中心に地球温暖化への対策を求める様々な抗議活動が、世界一六〇か国で行われて数百万人が行進したこと、国連でスウェーデンの十六歳の少女が温暖化防止を訴える演説をして大人に強く働きかけたという

ニュースが流れました。世界の若者たちは、これから生きる自分たちの時代の地球環境に強い関心をもち、すでに多くの若者が動き始めています。日野市の子供たちが、「緑のまち」作文を書くことは、自分たちの未来に思いを馳せ、環境問題を世界規模で考え、身近なところから実践する契機にもなるのではないかと思います。

結びに、児童が作文を応募するにあたり、ご協力くださいましたご家族や先生方、関係の皆様には厚く御礼申し上げます。そして、この作文集「緑のまち」によって、子供たちの思いや願いが、多くの皆様の心に届くことを願っています。

旭が丘東公園



住宅街の中にある扇形をした公園で、豊田駅から徒歩で約10分。広々として爽やかな風が吹き抜ける公園内にはアジサイ、れんぎょう、こぶし、じんちょうげ等四季折々楽しめるお花や樹木が沢山あります。子ども達が思いっきり遊べる最高の公園で、ジャングルジム、滑り台、ブランコ、鉄棒、砂場があり、保育園の子ども達や家族連れが遊びに訪れたり、どんど焼き、夏祭り、運動会やバザーなどの行事が開催され、地域の方々の憩いの場、活動の場として活用され、とても愛されています。

長年、愛護会として公園清掃をされていたお知り合いの方から、「引き継いでやってくれないか?」とお願いをされたのをきっかけに、清掃活動を開始されて7、8年。共に清掃する自治会の有志メンバーやお友達とは長年のお付き合いで家族みたいなのよ!とおっしゃられていましたが、皆さん気さくで良い方ばかり。ほのぼの

として和やかな雰囲気から、メンバーの絆やチームワークの良さが伝わってきました。地面にはびこる草の除草、掃き掃除、背の高い草の除草、低木剪定等いつの間にか得意分野が担当になり、キレイになった!!と納得がいくまでは帰らないとお聞きし、責任感の強さとやる気に感動しました。こんなに広い公園をキレイに保つことは並大抵の努力ではないはずなのに、なぜか公園がきれいになっていくのを楽しんでおられるようでした。皆さんの頑張る姿、光る汗はとってもかっこよかったです。



ねんも公園

高幡不動駅北口を下りて、百草園駅方面へ線路沿いを歩いて行くと、左手にたくさんの遊具や、自然風原っぱが楽しそうな公園が見えてきます。そこが「ねんも公園」です。

この公園の清掃をしているのは、日頃、市民活動を行っている複数の団体

と、それを取りまとめる団体の方々です。

通常の清掃は、少人数でローテーション制との事ですが、小さなお子さんが多く利用

する公園という事もあり、広い公園の草むらの中を、何度も何度もかき分けながら、プラスチックのかけらのような小さな物まで丁寧に拾っていました。

これは、日頃社会貢献活動を行っているみなさんの目線だからこそできる細やかさなのだ、なんだか無性に嬉しい気持ちになりました。また、年に2回の一斉除草では、各団体の有志のメンバーが集い、汗を流すそうです。これらの活動の取りまとめも行っている支援団体の方は、単なる公園清掃ではなく、「人と人がつながる場所にした」と、時には「除草よりもその時使うカマを研ぐ方が大変で」と明るい笑顔で裏方の作業も引き受けておられました。そんな様子を見たご近所の方が、時にはお手伝いして下さる事もあるそうです。



紹介

介



地域の公園に求めるものや価値観は、さまざまだと思いますが、人と人が出会い、つながって、広がっていけば、必ず何か温かい物が生まれて育っていく。ねんも公園を訪れる機会があったら、季節の花木を楽しみつつ、そんな事も感じていただけたらと思います。



取材日記

今回は、「旭が丘東公園」「ねんも公園」にお邪魔しました。どちらも広い公園で、気持ちよく利用できる状態を保つためには、夏の除草作業、秋冬の落ち葉掃きや台風の後の小枝拾いなど、年間通して休むヒマがありません。特に、長雨の後の猛暑は、雑草たちが大喜びで暴れだし、もはや、いたちごっこだそうです。取材当日も、残暑が厳しく屋外で作業するのに、とても快適とは言えない陽気でしたが、作業中のみなさんに声をかけさせていただくと、とっても明るく、ステキな笑顔で、大変なはずの活動のお話を、とても楽しそうに話してくださいました!

こうして、実際に活動して下さっている方々の顔を見て、思い思いのお話を聞かせていただくと、「ボランティアや社会貢献活動をする立派な人」などの言葉よりもっともっと大きな尊敬と感動の気持ちが溢れてきて、また早くみなさんにお会いしたくなりました。

編集後記

日野市の花が『菊』であることは言わずと知れたことですよ!今から半世紀近く前の1973年(昭和48年)11月3日に制定されました。「四君子」(その高潔な美しさを君子に喩えた梅・菊・蘭・竹の総称)の一つに数えられ、日野に縁の深いカワラノギクの可憐さが人の心を引きつける等の理由で市の花に選ばれました。緑化協会では菊に関しての様々な事業があります。大菊の育て方講習会・P.S菊の講習会や菊苗の配布、菊花コンテスト等を行っています。菊苗を愛情込めて育てると素敵な菊が花開きます。まだ育てたことがない方、ぜひ講習会に参加して、菊を育ててみませんか?ひの広報やホームページに緑化協会の情報を掲載しておりますので、ぜひご覧になってみてください。

【M・K】

四中生徒の職場体験学習

9月24日・25日、日野第四中学校の生徒3名が職場体験学習として環境緑化協会にやってきました。公園清掃やプランターへの菊苗植込み、花の種や肥料の袋詰めなど、普段体験することのない作業を行いました。特に今年は、協会の畑に冬花壇用のハボタンを植付けする作業を実施。慣れない姿勢での植え付けは大変だったようですが、それでも一生懸命成し遂げました。このような大変な作業をとおして、花壇の花は市民みなさんの目を楽しませてくれます。

